



CDTi、パシフィコ横浜で開催される 2015 年 JSAE 春季大会で

プレゼンテーション

2015 年 5 月 20 日カリフォルニア州オクスナード発(グローブニューズワイヤ) – 高度な排気制御テクノロジーにおけるリーダーであるクリーン・ディーゼル・テクノロジーズ(Clean Diesel Technologies, Inc.)(NASDAQ:CDTI)(「CDTi」あるいは「同社」)は、パシフィコ横浜のコンベンションセンターで 5 月 22 日に開催される 2015 年日本自動車技術会の春季大会に参加することを発表した。CDTi は、「"Copper Manganese Spinel Based Oxide for Next Generation Three-Way Catalysts (次世代の三元触媒のためのスピネル型銅・マンガン酸化物)」という題目のプレゼンテーションを行い、2014 年に同社が獲得したスピネル(TM)テクノロジー(Spinel(TM) technology の特許の基盤となっているものを紹介する。スピネル(TM)テクノロジーは、現在自動車に搭載したテストが行われている有望な技術である。

JSAE 春季大会は日本自動車技術会が後援する例年の技術会議であり、日本、中国、韓国やその他世界各地の大手 OEM やサプライヤーが出席している。

CDTi のプレゼンテーションおよびこのプレス・リリースの日本語版は、CDTi の Web サイト www.cdti.com/spinel で入手可能。

スピネルについて

スピネル・プラットフォームは、標準触媒コンバーターで高価な白金族金属(PGM)と希土類金属の代用になる様々なベースメタルを使用する、同社独自の素材ファミリーである。スピネルは多様なエンジン(ガソリンとディーゼルの両方)および自動車の用途において使用可能であり、高価な PGM や希土類金属が大幅に削減されるか、または不要になるため、OEM がコストを大幅に節約できる。この技術により、米国および世界各国において引き締められる排ガス規制に対するコストパフォーマンスの良い準拠を早期に実現し、PGM や希土類金属の不安定な供給や価格変動に OEM がさほど影響されなくなるのが約束される。

CDTi について

CDTi は高度なマテリアル・テクノロジーを活用する車両排気ガス制御製品の製造・販売を行っている。CDTi は特許を取得した同社特有の混合層触媒(MPC(R))テクノロジーやその他の関連技術を活用して、道路用やオフロード用内燃機関の排気ガス削減、エネルギー効率向上、カーボン濃度削減を実現する高価値で維持可能なソリューションを提供している。革新を重視している CDTi では、相乗化白金族金属(SPGM(TM))を含めた同社独自の高度な低白金族金属(PGM)触媒、およびゼロ PGM (ZPGM(TM))触媒の開発と商品化を行っている。CDTi はカリフォルニア州オクスナードに本社を構え、英国、カナダ、フランス、日本、スウェーデンでも運営している。詳細については www.cdti.com を参照のこと。

将来の見通しに関する記述

本書に記載されている情報の一部は、過去の事実に基づいていない事項を含め、将来の見通しに関する記述である。「考える」、「予想する」、「期待する」、「計画する」「可能性がある」、「予定である」、「予想する」、「意図する」、「推定する」、「約束する」などの言葉および類似の表現は、否定肯定にかかわらず、将来見通しに関する記述であることを示すために使用されている。将来の見通しについての記述は、一連の予想、仮定、推定、見通しに基づくものであり、高度な不確実性とリスクが伴われる。本プレス・リリースでは、同社は CDTi の予定されているプレゼンテーション、スピネル技術の特許取得の約束、今後の試験や結果、スピネル(TM)を含めた CDTi の製品やテクノロジーの開発、商業化、潜在的な利益などについての見通しが記載されている。一般的には、実際の結果は将来の見通しについての記述とは実質的に異なる場合がある。

これは、以下を含むがそれには限らないリスクや不確実性に起因する。(i) CDTi が以下のことを達成できない (1) 投資の利益の実現、(2) 高度なマテリアル・サプライヤーとしての展開の成功、(3) 戦略的優先事項の実践、(4) サードパーティとの同意によりテクノロジーを商業化、(5) 知的財産権の保護、(6) 製品またはテクノロジーに対する検証、承認または市場での受け入れの情報入手、または (7) 予想通りの結果の達成、(ii) 排気ガス・プログラム、規制、基準の強制や出資が変更されたか、または存在しないこと、(iii) 競争的な状況 (iv) PGM および希土類金属の価格、(v) 知的財産権侵害の主張、(vi) 排ガス基準に適合できない、(vii) JSAE2015 年春季大会のキャンセルまたは延期、(viii) 最新のフォーム 10-K の最新の年次報告書を含めた Securities and Exchange Commission (証券取引委員会)への同社の提出書類に記載または言及されているこの他のリスクや不確実性。さらに、将来の見通しについての記述はそのような記述の日付の時点で

の同社の推定であり、同社のその後の推定を記述するものとして依存すべきではない。同社は将来の見通しについての記述を更新する一切の義務を特定の否認する。本プレス・リリースに記載されている将来の見通しについての記述全体には、この注意書きが適用される。

問い合わせ先：ベッキー・ヘリック(Becky Herrick)またはキャシー・マティソン(Cathy Mattison)

LHA (IR Agency)

+1 415 433 3777

bherrick@lhai.com

cmattison@lhai.com